令和５年度　事業計画

ー在宅医療・介護連携推進事業ー

ー在宅医療に関する市民向け相談窓口業務ー

一般社団法人徳島市医師会

徳島市在宅医療支援センター

地域のめざす理想像：（省略版）　医療と介護を必要とする状態になっても、住み慣れた家で自分らしい生活を続けられるよう、医療･介護の関係機関が連携して、切れ目のない在宅医療、介護の提供体制の構築を目指す。

徳島市（介護保険の地域支援事業）　→　**徳島市在宅医療・介護連携推進協議会**

委託　　開催　　推進事業の方針等決定

在宅医療・介護連携推進事業【徳島市医師会】　※徳島西医師会と連携

【場面】　日常の療養支援　急変時の対応　看取り　入退院支援

ア　現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

①徳島市内の医療・介護資源の整理
②地域資源情報一覧の運用

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

①多職種連携会議
②在宅医療整備ワーキンググループの開催
③三師会在宅連携委員会の開催
④在宅医療に関する各種アンケートの実施

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

①徳島あんしんタッグの開催
②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と連携訪問看護ステーションとの連携
③24mini(カンファレンス)の開催及び運用(在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化)
④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携
⑤とくしまスクエア会議の開催(がん診療連携拠点病院・ホスピス・行政・医師会の連携会議)
⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用及び他科への拡充
⑦四国四市医師会在宅部会（web会議）の開催
⑧四国四市医師会在宅医療・介護支援センター職員web会議の開催
⑨ニコイチ会議の開催(地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議)
⑩在宅医療連携委員会の開催

【場面】　日常の療養支援　急変時の対応　看取り　入退院支援

イ　対応策の実施

（ア）在宅医療・介護連携に関する相談支援

①医療介護従事者からの相談窓口

（イ）地域住民への普及啓発

①在宅医療市民公開講座の開催
②webを活用した在宅療養支援診療所及び在宅医療整備への取り組み紹介
③刷新した「とくしま市の在宅医療と介護」パンフレットの配布
④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信

（ウ）医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

①ケアマネタイムの運用及び情報更新
②多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用
③共通連携「トクシィノート」の運用
④徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所と連携した入退院支援への取り組み
⑤キーパーソン３の開催
⑥三師会主催多職種のための在宅医療研修会の開催
⑦在宅医療よろず勉強会の開催

ウ　対応策の評価の実施（徳島市主体）、改善の実施

在宅医療に関する市民向け相談窓口業務（徳島市から委託）

①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口

令和５年度　事業計画（案）概要

赤字：新たな取り組み内容

ア　現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

必須項目	実施項目	実施目標	実施回数
（ア） 地域の医療・介護の資源の把握	①徳島市内の医療・介護資源の整理	徳島市内に現存する医療・介護資源を随時把握・整理し、現状分析、課題抽出、施策立案に活用する。	通年
	②地域資源情報一覧の運用	歯科診療所や薬局、訪問介護事業所等、13のサービス事業所の情報を適宜更新ながらホームページ上で公開するとともに、専門職や地域住民等へ一覧表として配布する。	通年
（イ） 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	①多職種連携会議の開催	徳島市において、在宅医療を提供する上での課題等を抽出し、多職種で解決策を協議したのち、その解決策を地域へ還元するPDCAサイクルを循環させるための会議と位置づけ開催する。	年1回
	②在宅医療整備ワーキンググループの開催	多職種連携会議等で抽出された解決策をより実行可能な解決策とする再協議の場とし、導き出された解決策は行政及び各団体から地域へ周知する。	年1回
	③三師会在宅連携委員会の開催	三師会が取り組む在宅医療整備の情報を共有するとともに、日常の療養支援や看取りに関し、連携しながら地域における面展開を目指す。	年1回
	④在宅医療に関する各種アンケートの実施	専門職や地域住民等に対し、在宅医療に関するアンケートの実施を通じて、在宅医療の現状や在宅医療と介護の連携の課題等を把握し今後に反映させる。	随時
（ウ） 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進	①徳島あんしんタッグの開催	徳島市版地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携体制の構築等、様々な課題や問題について行政と意見交換、検討する場とする。	年1回
	②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と連携訪問看護ステーションとの連携	お互いが副主治医となるセーフティーネットとして、在宅医同士の負担軽減を図る。また、ネットワーク登録医と連携訪問看護ステーションが連携し、急変時等における24時間対応が可能な体制を整備するため、連携会議等を開催する。	年1回
	③24mini(カンファレンス)の開催及び運用 （在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化）	在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化し、モデル運用することにより、更なる在宅医の負担軽減と連携体制の強化に繋げる。	随時
	④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携	かかりつけ医のいない患者に対し、在宅医療を提供する受け皿となるネットワークを運用して在宅医療の推進を図る。また、在宅療養が困難になった際の入院受入れ要請等を円滑に行えるネットワークと連携を図り、安心して在宅医療が受けられる体制を整備するため、連携会議等を開催する。	年1回
	⑤とくしまスクエア会議の開催 （がん診療連携拠点病院・ホスピス・行政・医師会連携会議）	医療機能の異なる医療機関同士(がん拠点病院･後方支援病院･在宅医･ホスピス)の縦の連携を強化するとともに、行政の主体的関与のもと地域全体で切れ目なく患者を支える体制を目指す。	年1回
	⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用及び他科への拡充	かかりつけ医が自身の診療科以外の専門医と連携し、総合的に在宅医療が提供できる体制を構築する。今年度は、すでに構築済みの耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、眼科を運用しながら、精神科のネットワーク構築を検討する。	通年
	⑦四国四市医師会在宅部会（web会義）の開催	四国の県庁所在地における在宅医療の整備状況について情報共有を図り、お互いの取り組み状況を還元しあうことで、今後の参考とする。	年1回
	⑧四国四市医師会在宅医療・介護支援センター職員web会議の開催	在宅医療整備に取り組む実務者同士によるweb会議を開催し、事業実施における課題や解決策等を率直に意見交換し、今後の取り組みへ反映させる。	年1回
	⑨ニコイチ会議の開催 （地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議）	市内唯一の地域包括支援センターと在宅医療支援センターが定期的に情報共有、意見交換を行い、徳島市版の地域包括ケアシステムの構築を目指す。	随時
	⑩在宅医療連携委員会の開催	在宅医療・介護連携推進事業等における特に医師に関わる取り組みについて、意見交換、情報共有を図り、事業の取り組みに反映させていく。	年1回

イ　対応策の実施

必須項目	実施項目	実施目標	実施回数
（ア） 在宅医療・介護連携に関する相談支援	①医療介護従事者からの相談窓口の運用	地域の医療・介護関係者から在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連携調整、情報提供等を通じて、多職種間の円滑な連携を支援する。	通年
（イ） 地域住民への普及啓発	①在宅医療市民公開講座の開催	患者や家族、地域住民等が在宅医療と介護を理解し、在宅医療を新しい選択肢の一つと捉えていただく機会として開催する。ケーブルテレビ放送やYouTube配信での普及啓発を継続しつつ、今年度は新型コロナウイルスの感染状況を見ながら対面による開催を検討する。	年1回
	②webを活用した在宅療養支援診療所及び在宅医療整備への取り組み紹介	在宅医療を提供する医療機関の紹介及び徳島市における在宅医療整備への取組み内容等をホームページにおいてタイムリーに紹介する。	通年
	③刷新した「とくしま市の在宅医療と介護」パンフレットの配布	「とくしま市の在宅医療と介護」パンフレットを広く地域住民等へ配布し、在宅医療における徳島市の現状や各専門職種のサービス内容等について普及啓発する。	随時
	④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信	過去にケーブルテレビにて放送された「在宅医療市民公開講座」等について、より多くの地域住民等に時間を問わず視聴していただけるようYouTube配信を継続する。また、在宅医療支援センターの広報動画も広告配信として継続する。	通年
（ウ） 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援	①ケアマネタイムの運用及び情報更新	ケアマネジャーと医療従事者の連携促進のため、診療所･病院･歯科診療所･薬局･訪問看護ステーションごとに相談可能な時間帯や方法等について、今年度全面更新し、ホームページ上に掲載する。	通年
	②多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用	徳島県医師会が導入した「バイタルリンク」を継続して使用し、患者情報をタイムリーに共有することにより、多職種連携の促進を図る。今年度は、公的病院へ普及啓発を図るとともに、多職種間でのACPの情報共有がバイタルリンク上で行える環境を目指し、運用方法等検討する。	通年
	③共通連携「トクシィノート」の運用	共通連携ノートの配布、活用を通じて、患者（利用者）の状態変化等に応じた、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われる体制を整備する。今年度も引き続き、認知度向上に向けて積極的に広報活動を行う。	通年
	④徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所と連携した入退院支援への取り組み	徳島保健所が中心となって運用中の入退院支援の手引きを様々な場面で広報するとともに、徳島市においてより良い入退院支援の体制が構築できるよう徳島保健所と連携して取り組む。今年度は、徳島保健所と協働で急性期病院を個別訪問し、当該取り組み等について意見交換する機会を検討する。	通年
	⑤キーパーソン3の開催	キーパーソン3(医師･訪問看護師･ケアマネジャー)の連携がより密となるよう、4つの場面に関連した症例検討を通してお互いの距離感を掴み、患者を中心に一体的な在宅医療の提供を目指す。	年1回
	⑥三師会主催多職種のための在宅医療研修会の開催	三師会(医師会･歯科医師会･薬剤師会)が主催し、症例等を通じて多職種が在宅医療に対する資質の向上と標準化を図る機会を提供する。今年度は医師を講師にACPをテーマとして開催する。	年1回
	⑦在宅医療よろず勉強会の開催	在宅医療に関する診療報酬上の疑問や必要書類の整備等事務的内容について、医師を中心に多職種が学ぶ機会を設け、適切な事務処理が行える体制支援と同時に在宅医療に参入する医師増へ繋げる。	年1回
在宅医療に関する市民向け相談窓口業務	①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口	地域住民からの在宅医療に関する一般相談に応じるとともに、必要に応じて適切な機関へ繋ぐ等、在宅医療に関するワンストップ窓口機能の役割を担う。	通年